

文部科学省・岐阜県教育委員会指定「道徳教育地域支援事業」
令和7年度「道徳教育パワーアップ研究協議会」



関市立津保川中学校 公表会



令和7年10月28日（火）

- ◇全体会 I 13:25～14:00
- ◇授業公開 14:10～15:00
- ◇分科会 15:10～16:10
- ◇全体会 II 16:10～16:30



1



2

3

津保川思いやり宣言

私たちちは、仲間を思いやつて行動し、
だれもが安心して生活ができる学校
をめざします。

平成



思いやり5力条

- 1 お互いが笑顔になれる挨拶をしよう。
- 2 個性を認め合い、仲間の良さを見つけ、広めよう。
- 3 お互いの気持ちを理解し、尊重しよう。
- 4 自分の考えを安心していえる学級・学校を創ろう。
- 5 些細なことでも感謝の気持ちを相手に伝えよう。




3

関市学校教育基本理念

**ふるさと関に誇りをもち
豊かな心で 未来を切り拓く
人づくり**



4

関市の学校教育スローガン

「夢のある明るい学校」

5

関市の道徳教育の重点

- 指導体制の充実
- 指導計画の工夫改善
- 特別の教科 道徳の時間の充実
- 家庭や地域との連携

6

【生徒の実態】

7

R6・R7全国学力・学習状況調査 生徒質問紙などより

- ①自分にはよいところがある。

R7.10

81.4% → 83.6%

- ②自分と異なる意見について考えるのは楽しい。

91.4%

- ③地域や社会をよりよくするために何をすべきか考えことがある。

R7.10

74.3% → 83.6%

- ④道徳科で学習したことは日常生活や将来に役立つと思う。

97.1%

7

【生徒の実態】

8

③地域や社会をよりよくするために何をすべきか考えことがある。 R6.10 74.3% → **83.6%** R7.10

→地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う

78.9% → 89.9 %

→今住んでいる地域行事に参加している

78.9% → 85.3 %

→日本やあなたが住んでいる地域のことについて、もっと知ってもらいたいと思う

57.9% → 75.4 %

8

9

目指す生徒の姿

- ▶自分のよさに気付くことや社会や地域に支えられて生きていることを自覚し、**地域の諸活動に主体的に関わろうとする姿**
- ▶道徳的価値と自分とを関わらせて捉え、内省したり、多様な価値観に触れたりすることで、**よりよく生きるために考え続けていける姿**

9

10

研究主題

**自己を見つめ、よりよい生き方を
めざして実践しようとする生徒の育成**
～自己、他者、郷土の思いをつなぐ活動を通して～

津保川中学校キャラクター
つぼがわ そうべえ



10

11

2 自己を見つめ、自己の生き方について 考え方を深める授業展開の工夫

【研究内容②】自己を見つめ、自己の生き方について考え方を深める授業展開の工夫
 ○人間理解、他者理解、価値理解、自己理解を確かにし。
 考えを深めることができる発問の工夫
 ○自己及び他者の考え方や感じ方の整理と工夫

1 道徳科の授業を要とし、全教育活動を通して行う道徳教育の推進

2 学ぶ言ひ方
身に付けた学び方や考え方を生み出した自分の行動の選択

3 地域・家庭と連携し、道徳性を育む活動の充実

明日を拓く たくましさ
聰明 創造 爽快

11

道徳教育推進教師中心の指導体制の充実

○特別の教科 道徳の授業の充実

- ・教材の整備、準備

- ・校内研修の実施 等

12

13

【研究内容1】

道徳科の授業を要とし、全教育活動を通して行う道徳教育の推進

- 道徳教育の推進体制の整備
- 行事や教科、特別活動と道徳科を関連付けた年間指導計画の見直し、修正
- 道徳的価値を意識した教育活動の実施

13

○道徳教育の推進体制の整備

子どもが自己を見つめ、よりよい生き方をめざす実践力向上システム

子どもが自己を見つめ、よりよい生き方をめざす実践力向上の取組を、全職員によって組織的に以下のサイクルで行う。
観察 (Observe) → 計画 (Plan) → 方向付け (Orient) → 実行 (Do) → 評価 (Check) → 改善・実行 (Act)

<校内ネットワーク>

- | | | |
|--|---|---|
| 研究実践 | 学年、研推
道徳教育推進教師 | 授業改善 |
| ○「外部講師」を招聘した研究会の充実
→教師自身が主体的・対話的で深い学びを行う。 | ○「外部指導者」を活用した深い学びの実現
→生徒の幅広い学び及び専門的な追究 | ○知識・技能の習得と定着
→思考力を働かせるまとめの記述と自己評価力を高める振り返り |
| ○研究推進委員会による具体的な改善策の提案
→研究会の内容をまとめ、発達段階に応じた具体的な改善につなぐ。 | ○小中連携を図った授業
→教科、道徳、行事の交流 | ○組織力を生かした授業づくり
→複数教科担任制の導入、加配教員の効果的配置 |
| 学年会、研究推進委員会
学習指導改善推進委員、学習指導部会 | | |

全国学力・学習状況調査や実態調査等の分析と活用

○道徳教育の推進体制の整備



外部講師を招聘した授業研究会



外部講師と考える学年部会

14

指導計画の工夫改善

○指導計画の作成

- ・令和 6 年度：小学校採択替え
- ・令和 7 年度：中学校採択替え
- ・学校の行事等に応じた形式の工夫

15

指導計画の工夫改善

○特別活動等における道徳教育の推進

- ・キャリア教育↔夢と希望
- ・よさ見つけ↔自己有用感、思いやり
- ・「いきいき事業」↔生命尊重

16

○行事や教科、特別活動と道徳科を関連付けた年間指導計画の見直し・修正

教科や他の教育活動、家庭・地域との関連活動などを位置付けた年間指導計画を見直し、修正

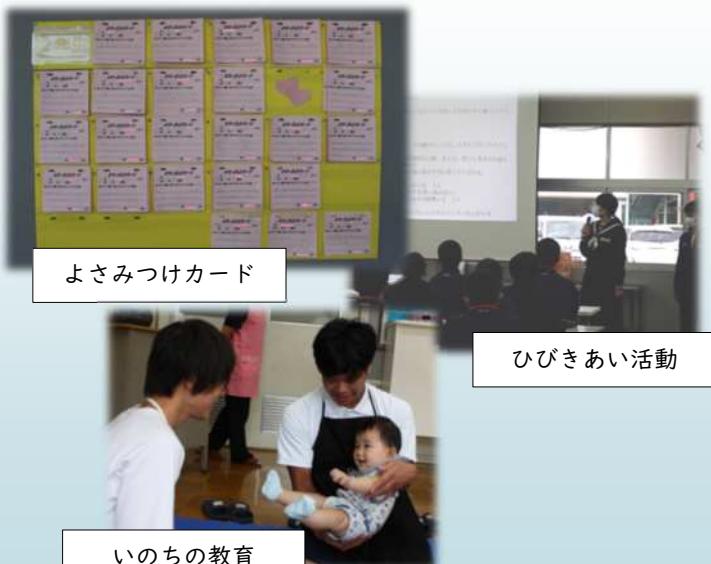
全教育活動を通した道徳教育

17

○道徳的価値を意識した教育活動の実施



校区の小学校と 連携、共有、活用



18

「特別の教科 道徳」の時間の充実

○発問や指導過程の工夫

- ・タブレットの利用
- ・ロールプレイ(役割演技)
- ・ワークシートの工夫

19

【研究内容2】

20 → 自己を見つめ、自己の生き方について
考えを深める授業展開の工夫

○人間理解、他者理解、価値理解、自己理解を確かにし、考えを深めることができる発問の工夫

○自己及び他者の考え方や感じ方の整理と工夫

20

21

○人間理解、他者理解、価値理解、自己理解を確かにし、考えを深めることができる発問の工夫

第2学年道徳科の授業構想

1 「価値の分析」
本時で扱う内容項目について、授業者が特に大切にしたいことを学習指導要領解説等を基に明確にする。

【内容項目について大切にしたいこと】

- ① 自分と同様に、他者も尊重し、誰に分け隔てなく公平に接し続けようとする姿勢
- ② 自他の不公正に気付き、勇気をもって許さないという断固とした姿勢となることをなくす努力をしようとする。

2 「実態と要因の分析」「価値の分析」を基に、生徒の実態から育成したいこと。

【生徒の実態と要因】

- よさ：正しいことを自ら積極的に実践できる生徒が多い。他者の意見を尊重することや学級仲間に分け隔てなく接することができる生徒が多い。

■内容項目
C-(11) 公正・公平・社会主義
正義と公平を重んじ、誰に対しても公平に接し、差別を拒むこと。

【指導の工夫、発問の工夫】

指導と評価の一体化

本時の「ねらい」

偏見を正し正義を貫くと決意する主人公「僕」の姿に共感することを通して、正義を重んじ、誰に対しても公平な態度で接する心を高めることができる。

考えを深めることができる意図的な発問

【問題視点①】
正力に流されないので、自分の意志を適切な行為を主体的に判断し、多くの大切さに気付くことができる。

【問題視点②】
して言えなかったこと、できないなどこれまでの自分を見つめながらの自分について考えている。

想定する「具体的な生徒の姿・発言」

- ① アツシは、みんなにヨシトのことを言えなかつたが、周りに合わせて公正な態度がどれかへたれと頭を出して言う。レポートはヨシトに辛い思いはあらためてしらう思

21

22

○自己及び他者の考え方や感じ方の整理と工夫

- ・ネームプレートを使った他者理解
- ・端的な言葉を使った板書の整理

- a → A : 意見aがより強い考え方Aに変容
- a → b : 意見aから意見bに変容
- a→a+b→c : 意見aと意見bが合わさり新たな意見cに変容 など

22

23

○自己及び他者の考え方や感じ方の整理と工夫

役割演技

共感や実感しながら
考えを深める



考え方を深めるための
役割演技

23

家庭や地域と一体になった道徳教育の推進

○校区内の小中連携

- ・児童会、生徒会による交流
- ・授業公開による交流
- ・重点項目の校区内での確認 等

24

25

【研究内容3】

地域・家庭と連携し、道徳性を育む活動の充実

- 地域・保護者と連携した道徳性の育成を目指す諸活動の推進
- 自らの願いをもって、中学生として地域づくりに参画する取組

25

26

○地域・家庭と連携した道徳性の育成を目指す諸活動の推進

挨拶活動



MSJリーダーズの取組



青少年健全育成協議会
と一緒に



校区の小学校で

26

27

○地域・保護者と連携した道徳性の育成を目指す諸活動の推進

【1家庭1ボランティアを取り組んだ生徒の感想】

家庭でのお手伝いは、いつもはできていないことだからこそ、親のありがたみがよくわかりました。これからは、家族の一員としてできることを見つけ、お手伝いしようと思います。また、普段から「ありがとう」と感謝の言葉を伝えたいです。

1家庭1ボランティアの取組

27

家庭や地域と一体になった道徳教育の推進

○地域との連携

- ・ 地域清掃、花植え、合唱
- ・ 地域行事ボランティア
- ・ ゲストティーチャー 等

28

29

○自らの願いをもって、中学生として地域づくりに参画する取組



地域と共に



地域から学ぶ

地域から学び、発信する夢活



地域に伝える

29

30

○自らの願いをもって、中学生として地域づくりに参画する取組

地域で活動し、思いを伝えるボランティア



武儀生涯学習センターで
企画・運営した武儀夏祭り



漁協・道の駅の方と
鮎まつりボランティア

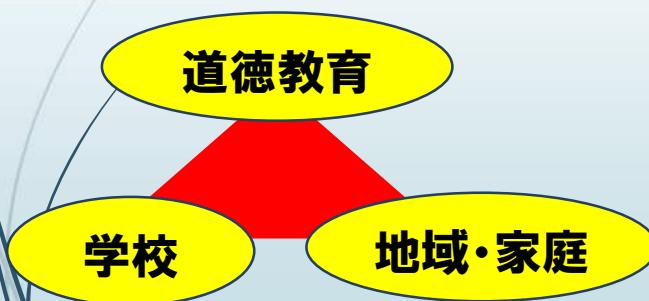


上之保ゆずまつりでの
運営ボランティア

30

31

自己を見つめ、よりよい生き方を
めざして実践しようとする生徒の育成
～自己、他者、郷土の思いをつなぐ活動を通して～



31

本協議会について

①学習指導要領を踏まえた

道徳教育の充実

②学校、家庭、地域社会が連携した

道徳性を育む実践の充実

32

①学習指導要領を踏まえた道徳教育の充実

ア:「特別の教科 道徳」の指導の在り方

イ:指導方法の工夫

ウ:指導に生かす評価の在り方

33

②学校、家庭、地域社会が連携した 道徳性を育む実践の充実

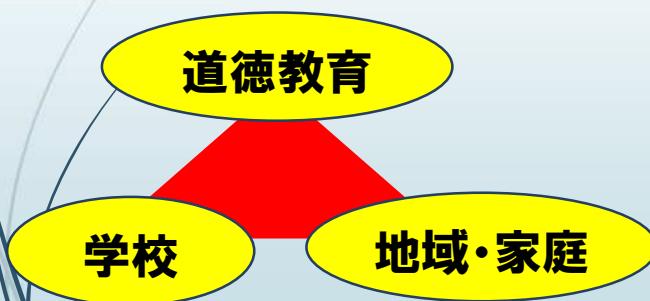
ア:地域住民による授業への参加

イ:家庭・地域との相互連携の在り方

34

35

自己を見つめ、よりよい生き方を
めざして実践しようとする生徒の育成
～自己、他者、郷土の思いをつなぐ活動を通して～



ご清聴ありがとうございました